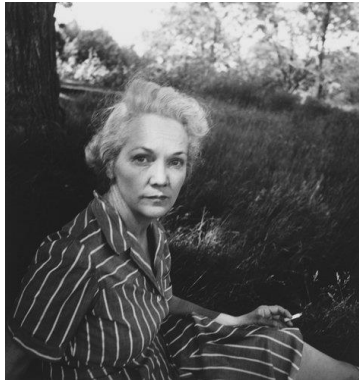


『Mind Charging』

第 92 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 8 月 1 日

キャサリン・アン・ポーターの名言



God does not know whether a skin is black or white. He sees only souls.

神は肌の色が黒いか白いかを知りません。魂だけを見るのです。

最近ではかなり『差別ゼロ』の動きが高まっていますが、少し前までは特に人種差別は根強いものがありました。当時このような言葉を発すること自体、かなり勇気が要ることだったと思います。誰にでもできることではない大きな責任を持った素晴らしい人格者だったことがわかります。

人種だけでなく、世の中には様々な差別があり、それによって不当な扱いを受けている人々が多く存在します。私たちが住む日本ではそういった差別は“ほぼない”と思いますが、『自分たちが被害を受けているわけではないから・・・』と、私自身も含めて“見て見ぬふり”をしてしまっている部分はあると思います。また、そうしてしまう裏には現状にメスを入れるようなアクションを起こすことに対して『下手なことをすると自分に火の粉が降りかかるかも・・・』という恐怖感があることが原因の一つとしてあると思います。しかし、そうしているうちは変わっていかないのではないのでしょうか。こういった差別問題に関わらず、自分自身を含めた何かを変えたいと思いながら、結局自分から何もアクションを起こさないまま時間が過ぎ、諦めてしまったことが今までも何度かあったのではないのでしょうか。変わる(変える)ということはとても大きな勇気が必要なことです。どこまでやれば変わるかも決まっていません。途方もない時間と労力を注いだとしても結果として変えられないこともあるかもしれません。でも、だからやらないという選択をしているうちは、間違いなく何も変わらないのではないのでしょうか。勇気を持って行動していきたいものです。

大変とは『大きく変わる』と書きます。変革を迫られた時に、ネガティブな感情に襲われて押しつぶされそうになりがちですが、『これは自分のチャンス！』とポジティブに取り組んでいきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

キャサリン・アン・ポーター(1890年5月15日-1980年9月18日)は、アメリカ人ジャーナリスト、エッセイスト、短編作家、小説家、政治活動家でした。彼女の1962年の小説「愚か者の船」は、その年のアメリカでベストセラー小説でしたが、彼女の短編小説ははるかに批判的な評価を受けました。(Wikipedia 参照)